

第2次浜頓別町行財政改革②

先月号でお知らせしました、平成15年度から5年間の計画でスタートする「第2次浜頓別町行財政改革」。今月号から、この改革の基本方針の具体的な取り組みについてお知らせします。

■基本方針

行政の情報化の推進と住民サービスの向上

■基本的な考え方

地方分権の推進にともない、開かれた町政をすすめるため、広報誌やインターネットを活用した開示と行政情報や町民の生活に役立つ情報の積極的な提供に努め、共有化を図ります。

■行財政改革大綱における基本事項

- ①インターネットを利用した住民からの申請・届出等の処理、公共施設の予約、入札制度の改革、住民との情報交流など住民サービスに努めます。
- ②庁内情報の一元化及びOA化、ペーパーレス化の推進を図ります。
- ③住民への説明責任の確立が求められているなか、住民からの請求に応じた行政情報の開示にとどまらず、可能な限り分かりやすく情報を提供します。
- ④事務手続きの迅速性、住民対応など、住民サービスについての評価制度の導入を図り、一層の住民サービスの質的向上を図ります。



★は条件が整った段階で実施

実施計画項目	実施計画予定年度				
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
●OAシステムの計画的な推進					
ホームページの内容充実	実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
インターネットによる申請書等の提供	実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
電子申請・届出システムの構築	検討	随時実施	⇒	⇒	⇒
公共施設予約システムの構築	検討・随時実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
インターネットを利用した入札制度		検討★	⇒	⇒	⇒
●電子自治体の推進					
情報化推進計画の樹立	検討	実施	⇒	⇒	⇒
L G W A Nへの加入	検討・実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
メディアを活用した広報広聴制度の充実	実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
セキュリティ関連研修の実施	実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
学校IT化の推進	検討・随時実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
●情報公開の充実					
情報公開制度の普及啓発	実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
情報公開の充実	実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
●外部監査制度の導入	検討★	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
●総合相談窓口の設置	検討・実施	⇒⇒⇒	⇒	⇒	⇒
●行政サービスにおける窓口評価制度	検討	実施	⇒	⇒	⇒

用語解説

- L G W A Nとは…総合行政ネットワーク (Local Government Wide Area Network) は、地方公共団体を相互に接続する行政専門の通信網。
- I T (Information Technology) とは…情報通信技術。

問合せ先

行革推進室 行革推進係
☎2-2345(内線223)

今月のはつらつお元気さんは2月のはつらつお元気さんの須藤チヨさんからご紹介頂いた佐藤長栄さんです。

また、食生活のワンポイントでは栄養士の取り組みを紹介します。

今月のはつらつお元気さん



佐藤 長栄さん
88歳
豊浜に在住



山形のご出身で大正13年に両親とこちらにいられた佐藤さんは、佐藤漁業部の4代目。

この町を支える漁業の歴史とともに歩み、漁業の発展にご尽力くださったおひとりです。

「昔は山が見れなかつたら漁師はできなかつた。磁石盤と山を見て漁をしてたんだよ。魚も獲れなくて大変な時代もあったし、獲れたものを自宅で加工をしていた時には、本当に寝る暇もなく働いた。」と話される佐藤さんは70歳まで船に乗っていました。揺れる船の上での作業は常に危険と背中合わせ。緊張感はもちろん、体を支える足腰の強さやバランスが要求される事は佐藤さん自身が一番知っていることでした。船を下りる時期をご自分で決断。今は息子さんに任せて旅行やパチンコを楽しんでいきます。

75歳の時には病気で手術も経験しましたが、散歩や除雪、

夏は畑仕事をして体をよく動かしているのとでもお元気です。そんな佐藤さんに健康の秘訣をお聞きしたところ「食事は好きな物を食べ、タバコは1日10本も吸うし、体にいいことはしていませんよ。」と笑っていました。

佐藤さんは奥様、息子さんご一家で生活されていますが、中学校の時から自分の夢は漁師だといってきたお孫さんが、高校を卒業して本当に漁師になってくれたことが一番に嬉しかったそうです。

家の裏には流水が残るオホーツク海。愛しくも厳しい眼差しで窓から見える海をながめながら、「これからが忙しくなるんだよ」と話される顔は現役の漁師さん。声がとつてもはずんでいました。

先代が築き残してきた道を守ってきた佐藤さん、頼もしい後継者ができて本当に良かったですね。どうぞ、奥様といつまでも仲良くお元気でいてください。

食生活のワンポイント

野菜料理で健康づくり!

2月4日、農協女性部の依頼により「健康管理研修会」をおこないました。

栄養士担当の調理実習と講話は、「自家製野菜をたくさん食べたい!」ということで、身近な野菜をふんだんに使用した4品を作りました。みなさんの調理はとても手際がよく、あっという間に仕上がり、ご飯が炊けるのを待つほどでした。試食の場面では、「おいしい!」「こんな調理の仕方もあるんだね」などたくさんの感想を聞くことができました。その後の講話では、野菜の栄養の凄さを学習しました。



保健師担当のレクリエーションではボールや新聞紙など身近なものを活用し、楽しみながら体を動かしていました。

今月のヘルシーママ

1月21日におこなわれた転倒予防教室(魁の会)でもヘルシーママは大活躍!参加者の方たちと一緒にレクリエーションで汗を流しながら交流を深めました。



ヘルシークッキング

冬の時期を利用して各地区で行われるヘルシークッキング。

今月は、人口250人弱の下頓別・高砂・宇津内・茂宇津内地区のみなさんを対象に下頓別中学校を会場に栄養士と保健師2名でおじゃましました。

テーマは「貯筋で健康アップ」。調理実習では、カルシウムを効率よく体に吸収できるメニューを3品調理しボリュームたっぷりの料理を試食しました。講話では、調理した食材を思い浮かべながらカルシウムを効果的に体へ吸収できる調理法やクイズを行いながら知識を深めていきました。午後からの運動では、「たまる・燃える・若返る」ということで、家庭でも出来るようなシェイプアップ体操を行いました。そのあと、自分の体力年齢をチェックし、実年齢よりはるかに若い方がずいぶんいらっしゃいました。



栄養士 安達 マリア